第一回
員弁・阿下喜 秋のマルシェ・クラフト市

ワークショップ＆イベントガイド

10月13日（日）午前10時～午後4時迄・雨天決行

◎会場 **桐林館**（旧阿下喜小学校）園庭 及び阿下喜界隈

1枚で
2度おいしい。
移動映画館・街中寄席・花より団子 コロッケ
㊗前売券
好評発売中
◎チケットのお問い合わせ先
担当／田島　Tel.070-5039-3542
※当日券は会場内本部もしくは
直接会場にて販売いたします。

移動映画館

映画＋スウィーツ＋カフェ＋α

映画を上映する場所や街、観る人々によって、今や昔の映画・アニメーションを世界中の作品の中から、数タイトルをセレクトし上映する移動映画館。主宰するキノ・イグルー有坂さんとのやりとりから、セレクトされた映画は、誰もが楽しめると全国的に評判です。しかも、マルシェの中からセレクトしたスウィーツ＆カフェ付き。これも期待充分。あったらいいけど、なかなか無かった移動映画館。有坂さんはその道の有名人且つパイオニア。東京・吉祥寺から参加です。

前売券好評発売中
一、二〇〇円（大人お一人様）
場所・時間
ウッドヘッド三重　午前十一時～十二時頃
マップ❷
西町民家　午後一時～二時頃
午後三時～四時頃
マップ❹

※当日券は、マルシェ・クラフト市会場内本部もしくは直接会場にて販売します。

街中ツアー

阿下喜世間遺産ツアー

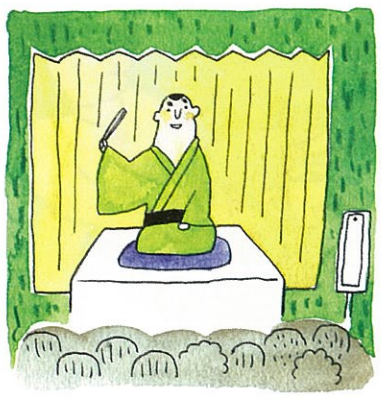
文化財級建築や街並と同時に、アートキッチュな看板や商店建築が混在する所が、阿下喜の街並の魅力。教科書や旅行本にある文化財や観光名所を巡るツアーではなく、言わば世界文化遺産ならぬ、世間文化遺産へのショートトリップを、楽しんでみては。ガイドをするのは阿下喜3人衆ならぬ安藤女史です。レトロなバスガイドさん系コスプレの安藤女史、のりのりです。

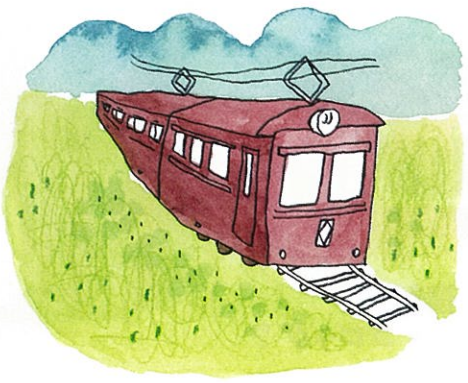
無料　午前十一時～　マップ❶
※当日、マルシェ・クラフト市会場内本部にて受け付けします。

復刻版 花より団子 コロッケ?

阿下喜名物とくれば、置屋？　カフェ～？いやいや花より団子、コロッケです。往時のレシピを基に、何度も試作を重ね完成しました。あの日あの頃の阿下喜をご賞味あれ。

前売券好評発売中
ダンゴ八〇円（一本）コロッケ八〇円（一ケ）
場所・時間
西町通り・魚佐太　随時　マップ❺
※当日は魚佐太さんの店頭にてお求め下さい。





ランランラン 電車に乗ろう

軽便鉄道（通常の電車よりレール幅の狭い鉄道の総称）のメッカ・聖地、阿下喜。北勢線の電車が阿下喜の街中を走ります。もちろん乗車可能です。阿下喜の街が好きでたまらない人々が、手作りで作った人気の電車です。さあ街中をランランラン、電車に乗ろう。

無料
場所・時間　西町通り・三重銀行辺り
随時　マップ❻
※当日は、直接乗り場までお越しください。

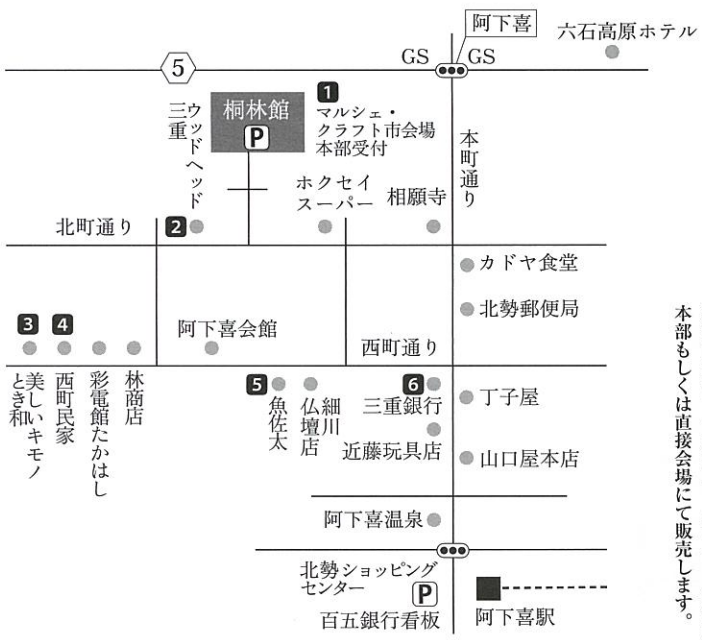
街中寄席

寄席＋幻の羊羹＋お茶

その昔、阿下喜にあった劇場（後に映画館へ）共栄座。今は呉服屋さんになっています。聞く所によると共栄座設立の主要メンバーの末裔に今の店主は当たるそうです。そんな所から、是非寄席を実現したい、街の賑わいとなればとの店主の熱い想いが実現しました。こうした思いに賛同した語り手（プロの落語家ですよ）が本場上方より3名登場です。更に落語を聞くだけではありません。阿下喜の人なら誰もが知っている幻の羊羹とお茶付きです。乞うご期待。

前売券好評発売中
八〇〇円（大人お一人様）
場所・時間
美しいキモノ・とき和
午前十〇時三〇分～十二時
午後一時三〇分～三時
マップ❸

※当日券は、マルシェ・クラフト市会場内本部もしくは直接会場にて販売します。



美しきかな・楽しきかな

その昔、阿下喜は員弁の文化中心街でした。桑名とつながる員弁川の水運、街道、鉄道。近隣の農山村とつながるお米、木材、鉱石等。これら交通と風土がつながり発生・発達した醸造醗酵業（お酒・味噌）、木工、舟大工、農具鍛冶等々。

これらが阿下喜に興り、人が集まり、人が商い、更には新聞社、出版社、銀行等が興るのが大正から昭和にかけて。

そう、阿下喜には近隣とつながり、風土とつながり、食とクラフトを生み育む街の文化があったんです。

だからこそ、中心街たり得、この時期に街の原型が出来上がったんです。

しかし今日はどうでしょう。阿下喜が阿下喜たらん資源を活かしているだろうか？

この思いを同じくする人達によって、今日的に街の文化を翻訳し直したものが、今回のマルシェ・クラフト市につながっています。

その昔、阿下喜の人々は、小学校を作りました。更にさかのぼれば、新しい学問を他藩、他国で修め、阿下喜に戻り私塾を開く先人がいました。

そこからは、多くの学者、医師、創業者、企業家、文化人が輩出されます。

こうした史実を阿下喜は持ちます。こうした実績、機運が阿下喜小学校へとつながったのでしょう。

ただ惜しむらくは、時代性だったのかも知れませんが、こうした人々が阿下喜を離れ、戻らずに中央に出たままであったことです。当時の外の世界に触れ、それを持ち帰った先人に倣う。

過去を踏まえ、優れた人材を輩出し、阿下喜の新しい人材とする。

今は外の世界の人々であっても、阿下喜に今後関わりを持ってもらう。

これらのきっかけづくりを象徴するものが阿下喜小学校だと解釈しています。

員弁の他街他地域とつながる。

広く人々とつながる。

そして、地域内の優れた人材を輩出する。

美しきかな、楽しきかなの街づくりです。

※街づくりに興味のある方は是非ご一報を！

ウエルカムです。事務局迄ご連絡お待ちしています。